

## 第 2 章 調査票及び単純集計結果



## 1. 区民向け調査票

### あなた自身について、お聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1	男性	40.1%	2	女性	58.0%	3	どちらともいえない	0.2%
	無回答	1.7%						

問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

1	18歳～24歳	5.2%	2	25歳～29歳	7.1%	3	30歳～34歳	9.0%
4	35歳～39歳	9.0%	5	40歳～44歳	10.2%	6	45歳～49歳	12.5%
7	50歳～54歳	7.7%	8	55歳～59歳	9.2%	9	60歳～64歳	5.0%
10	65歳～69歳	5.2%	11	70歳代	10.2%	12	80歳以上	9.0%
	無回答	0.6%						

問3 あなたはどの地域にお住まいですか。(〇は1つ)

1	麴町地区	29.9%
	〔丸の内一～三丁目、大手町一丁目1番～3番および5番～9番(3番4号気象庁を除く)・二丁目、内幸町一～二丁目、有楽町一～二丁目、霞が関一～三丁目、永田町一～二丁目、隼町、平河町一～二丁目、麴町一～六丁目、紀尾井町、一番町～六番町、九段南二丁目(1番4号～35号)、皇居外苑、日比谷公園〕	
2	富士見地区	18.4%
	〔千代田、北の丸公園、一ツ橋一丁目、大手町一丁目3番4号気象庁および4番、九段南一丁目・二丁目(1番4号～35号を除く)・三～四丁目、九段北一～四丁目、富士見一～二丁目、飯田橋一～四丁目〕	
3	神保町地区	12.5%
	〔一ツ橋二丁目、神田神保町一～三丁目、神田三崎町一～三丁目、西神田一～三丁目、神田猿樂町一～二丁目、神田駿河台一丁目奇数番地・二丁目奇数番地〕	
4	神田公園地区	7.7%
	〔神田錦町一～三丁目、神田小川町一～三丁目、神田美土代町、内神田一～三丁目、神田司町二丁目、神田多町二丁目、神田鍛冶町三丁目〕	
5	万世橋地区	11.9%
	〔神田駿河台一丁目偶数番地・二丁目偶数番地・三～四丁目、神田淡路町一～二丁目、神田須田町一丁目、外神田一～六丁目〕	
6	和泉橋地区	18.8%
	〔鍛冶町一～二丁目、神田紺屋町、神田北乗物町、神田富山町、神田美倉町、岩本町一～三丁目、神田西福田町、神田須田町二丁目、神田東松下町、神田東紺屋町、神田岩本町、東神田一～三丁目、神田和泉町、神田佐久間町一～四丁目、神田平河町、神田松永町、神田花岡町、神田佐久間河岸、神田練塀町、神田相生町〕	
	無回答	0.8%

問4 あなたのご職業を教えてください。(〇は1つ)

1	会社経営・役員	10.9%
2	自営業(家族従業者を含む)	10.4%
3	正社員・正規職員	43.2%
4	非正規職員(契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)	9.6%
5	学生(大学生、専門学校、高等専門学校など)	3.3%
6	無職の主夫・主婦	14.8%
7	その他の無職	3.5%
8	その他	2.7%
	無回答	1.5%

付問4-1 問4で「6」「7」を選択した方にお聞きします。

あなたは今後、働きたいと思いますか。(〇は1つ)

1	フルタイムで働きたい	2.3%	2	パート・アルバイトで働きたい	12.5%
3	自分で事業を始めたい(起業)	5.7%	4	働きたいが、現実的にはできないと思う	31.8%
5	働きたいと思わない	43.2%		無回答	4.5%

**あなたのご家族について、お聞きします**

問5 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

1	結婚している(事実婚・パートナーを含む)	62.8%			
2	結婚していた(離別・死別)	9.2%	3	結婚していない	27.6%
	無回答	0.4%			

付問5-1 問5で「1」を選択した方にお聞きします。

あなたは共働きですか。(〇は1つ)

1	共働きである	62.8%	2	夫婦・パートナーの片方だけ働いている	25.2%
3	夫婦・パートナーとも無職	11.3%		無回答	0.7%

問6 あなたは、お子さんがいますか。(〇は1つ)

1	いる	53.7%	2	いない	44.1%	無回答	2.3%
---	----	-------	---	-----	-------	-----	------

付問6-1 問6で「1」を選択した方にお聞きします。

年齢が一番下のお子さんはおいくつですか。令和2年4月1日時点での年齢をお答えください。(〇は1つ)

1	0~2歳	18.3%	2	3~5歳	6.2%	3	6~11歳	12.1%
4	12~14歳	3.9%	5	15歳~17歳	4.7%	6	18歳以上	54.5%
	無回答	0.4%						

問7 あなたのご家族・ご家庭には、介護・介助を必要とする方はいますか。または過去にいましたか。(〇は1つ)

1 現在いる	14.8%	2 過去にいた	19.4%
3 介護・介助を必要とする人はいない(いなかった)			63.3%
無回答	2.5%		

付問7-1 問7で「1」「2」を選択した方にお聞きします。

その方を主に介護・介助しているのは、介護・介助を受けている方から見てどなたですか。(〇は1つ)

1 配偶者・パートナー	21.3%	2 息子	14.0%
3 娘	21.3%	4 息子の配偶者・パートナー	9.1%
5 娘の配偶者・パートナー	0.0%	6 その他の親族	21.3%
7 友人・知人	0.0%	8 その他	9.8%
無回答	3.0%		

### 日頃の生活について、お聞きします

問8 あなたは、次の分野①～⑧について男女の地位は平等になっていると思いますか。(それぞれの項目について〇は1つずつ)

分野	男性の方が非常に優遇されている(強い立場にある)	どちらかと言えば男性の方が優遇されている(強い立場にある)	平等だと思っている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている(強い立場にある)	女性の方が非常に優遇されている(強い立場にある)	分からない	無回答
① 家庭生活	7.7%	31.5%	44.3%	6.3%	1.5%	6.1%	2.7%
② 職場	15.7%	38.2%	29.0%	5.2%	1.7%	6.3%	4.0%
③ 学校教育の場	3.8%	14.4%	57.4%	1.3%	0.4%	17.7%	5.0%
④ 政治の場	39.9%	34.9%	13.2%	0.8%	1.0%	5.8%	4.4%
⑤ 法律や制度の上	15.2%	32.6%	33.8%	5.6%	1.5%	7.3%	4.0%
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	23.8%	54.3%	11.9%	1.3%	1.0%	4.0%	3.8%
⑦ 町会・自治会やNPOなどの地域活動の場	8.4%	30.1%	33.4%	2.5%	0.4%	21.3%	4.0%
⑧ 社会全体として	13.8%	56.4%	17.3%	2.9%	1.0%	4.8%	3.8%

問9 現在、結婚（事実婚・パートナーを含む）している方のみご回答ください。

あなたのご家庭では、次の項目①～⑪の事柄を主にしているのは誰ですか。

（それぞれの項目について○は1つずつ）※項目⑩～⑪はお子さんがいる方だけ回答ください。

項目	主に男性 (父、兄、弟、 祖父等)	主に女性 (母、姉、 妹、祖母等)	男性と女性 が同程度に 分担	その他 (家族以外の 人や家事代行 サービスな ど)	無回答
① 食料品・日用品などの買い物	8.0%	66.4%	24.6%	0.0%	1.0%
② 食事の支度	3.3%	84.7%	10.6%	0.3%	1.0%
③ 食事の後片付け	15.9%	59.1%	23.6%	0.0%	1.3%
④ 風呂掃除	25.6%	48.8%	21.3%	2.7%	1.7%
⑤ その他の掃除	7.0%	63.8%	26.6%	1.7%	1.0%
⑥ ゴミ出し	31.2%	38.5%	28.6%	0.0%	1.7%
⑦ 洗濯	9.0%	69.8%	19.6%	0.3%	1.3%
⑧ 生活費を稼ぐこと	56.5%	5.0%	35.5%	0.0%	3.0%
⑨ 大きな買い物などの決定をすること	32.9%	14.6%	51.2%	0.0%	1.3%
⑩ 子どもの世話	0.0%	61.4%	24.2%	0.0%	14.3%
⑪ 保育園・幼稚園・学校の父母会やPTAなどへの参加	2.2%	66.8%	15.2%	0.4%	15.2%

問10 あなたは、次の項目①～⑪の事柄は、主に誰がするのが一番よいと思いますか。

（それぞれの項目について○は1つずつ）

項目	主に男性 (父、兄、弟、 祖父等)	主に女性 (母、姉、 妹、祖母等)	男性と女性 が同程度に 分担	その他 (家族以外の 人や家事代行 サービスな ど)	無回答
① 食料品・日用品などの買い物	1.7%	27.3%	64.9%	2.1%	4.0%
② 食事の支度	0.0%	42.8%	52.0%	1.7%	3.5%
③ 食事の後片付け	8.1%	16.5%	69.9%	1.7%	3.8%
④ 風呂掃除	17.5%	9.2%	66.2%	3.5%	3.5%
⑤ その他の掃除	5.4%	15.2%	71.0%	4.6%	3.8%
⑥ ゴミ出し	18.4%	8.8%	67.6%	1.7%	3.5%
⑦ 洗濯	2.9%	31.9%	59.9%	1.5%	3.8%
⑧ 生活費を稼ぐこと	34.7%	1.0%	59.1%	0.6%	4.6%
⑨ 大きな買い物などの決定をすること	11.7%	4.4%	79.1%	0.6%	4.2%
⑩ 子どもの世話	0.2%	13.4%	72.9%	1.0%	12.5%
⑪ 保育園・幼稚園・学校の父母会やPTAなどへの参加	1.3%	14.8%	70.4%	1.7%	11.9%

問11 あなたは、次の項目①～⑥の結婚や家庭に関する考え方について、どのように思いますか。  
 (それぞれの項目について○は1つずつ)

項目	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
① 結婚する、しないは個人の自由である	79.5%	16.5%	1.7%	1.3%	1.0%
② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	4.0%	22.8%	19.4%	52.6%	1.3%
③ 家族のリーダーシップは夫が取る方がよい	7.5%	27.8%	23.8%	39.5%	1.5%
④ 結婚しても子どもを持つかどうかは個人の自由である	69.7%	19.6%	6.7%	3.1%	0.8%
⑤ 子どもを産み育てるのに、必ずしも結婚しなくてもよい	31.3%	19.0%	27.6%	20.9%	1.3%
⑥ 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもよい	55.7%	29.4%	10.6%	3.1%	1.0%

**子育てや教育について、お聞きします**

問12 あなたは次の項目①～⑥の子育てや教育の考え方について、どのように思いますか。  
 (それぞれの項目について○は1つずつ)

項目	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
① 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい	15.0%	36.7%	20.0%	26.5%	1.7%
② 男の子と女の子は学校で学ぶ内容に違いがあってよい	12.9%	22.1%	24.0%	39.0%	1.9%
③ 男の子と女の子で進学先に差をつけない方がよい	69.1%	18.2%	6.9%	4.4%	1.5%
④ 子育てにおける父親と母親の役割は基本的に違いがある	34.4%	41.8%	9.8%	12.1%	1.9%
⑤ 父親も、母親と同じくらい子育てに関わる方がよい	54.1%	37.2%	5.4%	1.7%	1.7%
⑥ 乳幼児期(3歳くらいまで)は、母親は育児に専念した方がよい	23.4%	38.0%	18.6%	18.2%	1.9%

問13 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」ですが、あなたは小・中・高等学校の学校教育において、男女共同参画を実現するためにどのようなことに力を入れるとよいと考えますか。(〇は3つまで)

1	学校生活で生徒の役割分担に男女で差をつけない	43.8%
2	生活や進路指導で、男女の区別なく能力を活かせるようにする	58.5%
3	授業や日常の活動のなかで、男女共同参画の意識を育てる授業をする	34.9%
4	教材における登場人物や役割など、男女に偏りのないように見直す	13.8%
5	教職員に男女共同参画についての研修を行う	18.0%
6	校長、副校長などの管理職に女性を増やす	22.1%
7	保護者会などを通じて、保護者の男女共同参画の意識を育てる	13.4%
8	人権尊重や多様性の観点に立った性教育を行う	24.2%
9	デートDV（交際相手からの暴力）や性犯罪の加害者・被害者となることを防ぐための教育を早期から行う	31.1%
10	その他	4.2%
11	どれも必要ない	1.7%
	無回答	2.3%

**ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、お聞きします**

問14 あなたは日頃の生活のなかで、仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、学習、趣味など）で優先したいものはどれですか。あなたの希望に最も近いものと、現在の状況（現実）を教えてください。（それぞれの回答欄に1～8の数字を1つずつ記入してください）

選択肢			回答欄
1	仕事	希望2.5% 現実21.9%	希望
2	家庭生活	希望5.8% 現実11.1%	
3	個人の生活	希望13.8% 現実5.0%	
4	仕事と家庭生活	希望12.9% 現実20.5%	
5	仕事と個人の生活	希望9.2% 現実11.1%	
6	家庭生活と個人の生活	希望17.3% 現実7.5%	現実
7	仕事、家庭生活、個人の生活	希望31.5% 現実12.5%	
8	わからない	希望1.3% 現実4.4%	
	無回答	希望5.6% 現実6.1%	

問15 あなたは、女性が仕事をする事について、どのように考えますか。(〇は1つ)

1	仕事をし続けた方がよい	54.7%
2	結婚するまでは仕事をした方がよい	1.7%
3	子どもが生まれるまでは仕事をした方がよい	4.0%
4	子どもができたなら仕事を辞め、子育てが終われば仕事に復帰する方がよい	20.9%
5	女性は仕事をしないで、家庭を守った方がよい	1.5%
6	その他	11.3%
7	わからない	3.5%
	無回答	2.5%



付問15-1 問15で「1」～「6」を選択した方にお聞きします。

あなたが、問15の回答のように考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 働くことを通じて自己実現が図れると思うから	56.7%
2 女性も経済力を持った方がよいと思うから	62.0%
3 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	38.7%
4 女性の能力を活用しないのはもったいないと思うから	56.4%
5 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がよいと思うから	17.6%
6 子どもは母親が家で面倒を見た方がよいと思うから	13.6%
7 保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見る方が合理的だと思うから	1.8%
8 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	8.0%
9 働き続けるのは大変そうだと思うから	5.3%
10 女性は家庭を守るべきだと思うから	3.6%
11 その他	12.2%
12 特にない	0.7%
13 わからない	0.2%
無回答	0.7%

問16 育児休業や介護休業は男性も女性も取ることができる制度ですが、あなたは、男性がそれらの休暇を取得することについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

1 育児休業・介護休業を取った方がよい	45.5%
2 取得した方がよいと思うが、現実的には休めない	37.8%
3 取得する必要はない	4.6%
4 女性が取得した方がよい	4.4%
5 わからない	5.2%
無回答	2.5%

付問16-1 問16で「2」を選択した方にお聞きします。

具体的にどのような条件があれば、取得できると思いますか。(〇は3つまで)

1 上司や同僚などの理解や協力があること	79.0%
2 以前に取得した人の事例があること	17.1%
3 育児・介護休業給付(※)を超える経済的支援が受けられること	32.0%
4 昇進や昇格に影響がないこと	58.0%
5 休業中の代替要員が確保されること	35.4%
6 職場への復帰に際しての支援があること	30.4%
7 その他	4.4%
無回答	0.6%

※育児・介護休業給付として、育児休業は、おおよそ賃金の67%(180日まで)または50%(181日以降)、介護休業は67%が支給されます(いずれも給付の上限・下限あり)。

### DV（ドメスティック・バイオレンス）とは

配偶者やパートナー（※）による身体的、精神的、経済的、性的な暴力をいいます。

※配偶者やパートナーとは、夫、妻、元夫、元妻、同棲相手、恋人、元恋人など、一定期間、親密な関係にある（あった）相手を指します。

問17 ㊦あなたは、これまでに配偶者やパートナーから、次の項目①～⑩のような行為をされたことを見聞きしたことはありますか。（それぞれの項目について数字に○を2つまで）

①配偶者やパートナーによるこれらの行為をDVだと思えますか。

（それぞれの項目についてアルファベットに○を1つずつ）

項目	㊦されたこと、見聞きしたことがあるか (○は2つまで)				①どう思うか (○は1つまで)			
	ある 自分がされたことが	周りの人がされているの を見聞きしたことがあるの	されたことも見聞き したこともない	無回答	DVだ と思う どの ような 場合 でも	DV には 非が あ ら ば	DV だ と 思 わ な い	無 回 答
記入例	①	②	③		A	B	C	
① 殴る、蹴る、突き飛ばす、物を投げつけるなど、暴力行為を受けた	10.4%	25.7%	58.5%	7.5%	82.9%	4.2%	1.0%	11.9%
② 大声でどなられる、命令される、脅されるなど、恐怖を感じる言葉を言われた	16.5%	26.5%	50.9%	7.9%	76.2%	9.8%	1.5%	12.5%
③ 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」など、傷つく言葉を言われた	9.6%	23.2%	59.5%	9.0%	70.6%	13.2%	3.3%	12.9%
④ 長期間に渡って無視し続けられた	6.1%	14.2%	70.8%	10.0%	61.6%	20.3%	4.2%	14.0%
⑤ 家族や友人との関わりや、通勤・通学・遊びのため外出するのを制限された	7.1%	19.6%	64.7%	9.8%	57.4%	23.0%	5.4%	14.2%
⑥ 交友関係や電話・メールなどを細かく監視された	5.8%	17.3%	68.5%	9.2%	60.1%	21.9%	4.2%	13.8%

項目	㊦されたこと、見聞きしたことがあるか (○は2つまで)				㊧どう思うか (○は1つまで)			
	ある 自分がされたことが	周りの人がされているの を見聞きしたことがある	されたことも見聞き したこともない	無回答	どのような場合でも DVだと思う	相手に非があれば DVにはならない	DVだと思わない	無回答
㊦ 必要な生活費を渡されなかったり、自由にお金を使えないようにされた	4.0%	15.9%	71.8%	9.2%	67.8%	14.2%	3.8%	14.2%
㊦ いやがっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力してもらえなかった	3.5%	12.9%	74.9%	9.0%	81.0%	3.5%	1.7%	13.8%
㊦ アダルトビデオやポルノ雑誌を無理に見させられた	1.7%	6.7%	82.5%	9.4%	77.7%	4.0%	4.0%	14.4%
㊦ 別れた恋人や配偶者に対する報復として、わいせつな写真や映像を、インターネットなどで不特定多数に配布・公開された	0.2%	7.3%	82.9%	10.0%	82.3%	1.7%	1.7%	14.4%

付問17-1 問17㊦のいずれかの項目で「1」を選択した方にお聞きします。

あなたは、問17の項目①～⑩のような行為をされたことを誰かに相談したり、打ち明けたりしましたか。(○は1つ)

1 相談した	27.6%
2 相談したかったが、できなかった	12.1%
3 相談しようとは思わなかった	37.9%
無回答	22.4%

付問17-2 付問17-1で「1」を選択した方にお聞きします。

あなたが相談した相手はどなたですか。(〇はいくつでも)

1 親族	56.3%
2 友人・知人	62.5%
3 千代田区男女共同参画センターMIW	12.5%
4 「3」以外の千代田区の相談	6.3%
5 東京都の相談（東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センターなど）	3.1%
6 国の相談（DV相談+など）	0.0%
7 警察	15.6%
8 民生・児童委員、人権擁護委員など	0.0%
9 弁護士、法テラス（日本司法支援センター）、家庭裁判所など	18.8%
10 医師、カウンセラーなど	9.4%
11 民間シェルター	3.1%
12 民間支援団体（市民グループなど）	0.0%
13 その他	6.3%
無回答	3.1%

問18 次のうち、あなたが知っているDVに関する相談先はどこですか。(〇はいくつでも)

1 千代田区男女共同参画センターMIW	18.8%
2 「1」以外の千代田区の相談	6.1%
3 東京都の相談（東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センターなど）	16.9%
4 国の相談（DV相談+など）	12.5%
5 警察	55.3%
6 民生・児童委員、人権擁護委員など	8.8%
7 弁護士、法テラス（日本司法支援センター）、家庭裁判所など	34.0%
8 医師、カウンセラーなど	19.2%
9 民間シェルター	10.6%
10 民間支援団体（市民グループなど）	6.3%
11 その他	1.5%
12 知っている相談先はない	13.2%
無回答	15.2%

◆DVでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

千代田区男女共同参画センターMIW相談室

☎03-5211-4316（予約専用電話）

詳細やその他の相談窓口は、ホームページをご覧ください。

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/miw-sodan.html>



問19 テレビ、DVD、インターネット、映画、新聞、雑誌、広告などのメディアにおける性、暴力表現について、あなたは日ごろどのように感じていますか。(〇は3つまで)

1	女性の性的な面を強調する表現が目立つ	27.1%
2	性暴力や性犯罪の増加につながる	18.8%
3	社会全体の性や暴力に関する倫理観が損なわれている	25.5%
4	性・暴力表現を見たくない人や、子どもの目にふれないような配慮がたりない	40.5%
5	その他	2.7%
6	特に問題ない	17.5%
7	わからない	13.6%
	無回答	4.8%

問20 最近、AV（アダルトビデオ）出演強要問題やいわゆる「JKビジネス」など、特に若年層が性的な被害に遭う問題が発生しています。あなたは、これらの問題を知っていますか。(それぞれの項目について〇は1つずつ)

	知っている	意味を知らぬ	聞いたことはない	聞いたことがない	無回答
① AV（アダルトビデオ）出演強要問題 【例えば…】モデルにならないかと誘われて事務所と契約したのに、撮影現場に行くとアダルトビデオの出演だった。	73.7%	12.5%	10.0%	3.8%	
② JKビジネス 【例えば…】「一緒にお茶するだけ」「写真撮るだけ」のバイトと聞いていたのに、客に性的な行為を強要された。	60.5%	17.5%	18.0%	4.0%	
③ レイプドラッグ 【例えば…】出された飲み物を飲んだら、薬が混入されており意識がなくなった。目がさめると、胸や下半身を触られていた。	64.5%	12.1%	19.4%	4.0%	

◆性犯罪・性暴力でお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

東京都性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター

「性暴力救援ダイヤル NaNa」

☎03-5607-0799 <https://sarc-tokyo.org/>



◆その他の相談窓口は、内閣府男女共同参画局のホームページをご覧ください。

## ハラスメントとは

### セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反する性的な言葉や行為を拒否したことで、解雇などの不利益な取り扱いを受けたり、それらの言動によって不快・不安な状態に追い込み仕事に支障が生じることです。

【例えば…】上司が異性の部下の腰や胸を触ったが抵抗されたため、部下に不利益な配置転換をした。同僚が社内に性的な内容の噂を流したため、仕事が手につかない。

### マタニティ・ハラスメントとは

妊娠や出産・育児休業などを理由に、解雇などの不利益な取り扱いをほのめかしたり、育児休業などの制度利用を妨害することや、嫌がらせにより仕事に支障が生じることです。

【例えば…】上司に妊娠を報告したら、他の人を雇うから辞めるように言われた。妊婦検診のために休暇を取得したいと上司に相談したら、病院は休日に行くものだと言われ相手にしてもらえなかった。

### パワー・ハラスメントとは

職場での優越的な関係を背景とした言動で、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、精神的・身体的苦痛を与えられ仕事に支障が生じることです。

【例えば…】上司から人格否定や侮辱的な言動を受けた。同僚から集団で無視された。嫌がらせで仕事を与えられなかった。性的指向（好きになる性）・性自認（心の性）などの個人情報勝手に暴露された。

問21 あなたは職場などでハラスメントを受けたことはありますか。（〇は1つ）

1	セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある	8.6%
2	マタニティ・ハラスメントを受けたことがある	1.3%
3	パワー・ハラスメントを受けたことがある	15.9%
4	その他のハラスメントを受けたことがある	1.5%
5	受けたことはないが、見たことはある	28.4%
6	受けたことも、見たこともない	39.2%
	無回答	5.2%

付問21-1 問21で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

あなたは、問21の「1」～「4」のような行為をされたことを誰かに相談したり、打ち明けたりしましたか。（〇は1つ）

1	相談した	42.3%
2	相談したかったが、できなかった	22.3%
3	相談しようとは思わなかった	34.6%
	無回答	0.8%

付問21-2 付問21-1で「1 相談した」を選択した方にお聞きします。

あなたが相談した相手はどなたですか。(〇はいくつでも)

1 親族	30.9%
2 友人・知人	47.3%
3 千代田区男女共同参画センターMIW	1.8%
4 「3」以外の千代田区の相談	0.0%
5 東京都の相談（東京都ろうどう110番など）	1.8%
6 国の相談（総合労働相談コーナーなど）	1.8%
7 弁護士、法テラス（日本司法支援センター）など	9.1%
8 医師、カウンセラーなど	5.5%
9 社内相談窓口	27.3%
10 その他	21.8%
無回答	1.8%

問22 次のうち、あなたが知っているハラスメントに関する相談先はどこですか。(〇はいくつでも)

1 千代田区男女共同参画センターMIW	15.7%
2 「1」以外の千代田区の相談	4.2%
3 東京都の相談（東京都ろうどう110番など）	13.8%
4 国の相談（総合労働相談コーナーなど）	9.0%
5 弁護士、法テラス（日本司法支援センター）など	33.2%
6 医師、カウンセラーなど	15.2%
7 社内相談窓口	30.1%
8 その他	1.9%
9 知っている相談先はない	21.3%
無回答	12.9%

◆ハラスメントでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

千代田区男女共同参画センターMIW相談室

☎03-5211-4316（予約専用電話）

詳細やその他の相談窓口は、ホームページをご覧ください。

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/miw-sodan.html>



**LGBTsとは**

「L＝レズビアン（女性同性愛者）」「G＝ゲイ（男性同性愛者）」「B＝バイセクシュアル（両性愛者）」「T＝トランスジェンダー（心と身体の性が一致しない人）」の頭文字と、それ以外の多様な性の存在を「s」で表しています。「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」やエルジーピーティークュー「LGBTQ」（Q＝クエスチョニング）と表現することもあります。

問23 あなたは、今までに性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）について悩んだことはありますか。または、周囲の人で悩んでいる人はいましたか。（〇は1つ）

1 悩んだことがある（今、悩んでいる）	1.0%
2 悩んだことはないが、周囲に悩んでいる人がいた（いる）	18.2%
3 悩んだことはなく、周囲にもいなかった	77.2%
無回答	3.5%

問24 あなたは「LGBTs」という言葉を知っていましたか。（〇は1つ）

1 意味を知っている	75.4%	2 聞いたことはあるが、意味は知らない	8.6%
3 聞いたことがない	12.9%	無回答	3.1%

問25 あなたは、LGBTsの方々の人権を守るために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

1 正しい理解を深めるための教育を学校で行う	57.6%
2 正しい理解を深めるための啓発活動を行政が行う	31.3%
3 相談・支援体制を充実させる	33.4%
4 LGBTsであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する	57.6%
5 その他	2.3%
6 特に必要なことはない	5.0%
7 わからない	7.9%
無回答	3.3%

◆性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）などでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

・千代田区男女共同参画センターMIW相談室（LGBTs相談）

☎03-5211-4316（予約専用電話）

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/miw-sodan.html>

・Tokyo LGBT相談（東京都性自認及び性的指向に関する専門電話相談）

☎03-3812-3727 / LINEアカウント「LGBT相談@東京」





メディアとジェンダーの表現について、お聞きします

**ジェンダーとは**

生物学的な性別の違いではなく、社会的・文化的につくられる性別の違いです。人々の意識の中につくられた「男性像」「女性像」といった性別による役割分担を意味する言葉として使われ

問 26 あなたは、テレビやインターネットなどのメディアが発信するジェンダー表現について、日頃どのように感じますか。(〇はいくつでも)

1 男女のステレオタイプな表現（「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」など）を発信している	25.3%
2 色で性別を分けるなど、興味関心や服装・外見等の個性を無視したり軽視したりしている	16.1%
3 特に女性について、容姿や若さを強調している	38.8%
4 伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的な側面を強調するなど行きすぎた表現が目立つ	23.4%
5 LGBTsに配慮していない	15.9%
6 その他	2.9%
7 おかしいと思うことはない	11.5%
8 わからない	24.8%
無回答	5.0%

区政への女性の参画について、お聞きします

問 27 あなたは、千代田区の議会・審議会（※1）等に占める女性の割合や、区職員の管理職等に占める女性の割合について、どう思いますか。（それぞれの項目について〇は1つずつ）

	今のままでよい	ほんまうがよしい増えた	えんたほ半うがまよいでい増	ほど女性が増えたい	いらないほがよわ	わからない	無回答
① 区議会議員に占める女性の割合 ・現状値（令和2年4月）：24%	4.6%	35.1%	19.0%	1.9%	29.6%	6.7%	3.1%
② 区審議会等の委員に占める女性の割合 ・目標値※2（令和3年度末）：40~60% ・現状値（令和2年4月）：30.9%	4.6%	31.5%	22.3%	1.9%	29.0%	7.1%	3.5%
③ 区管理職等に占める女性の割合 ・目標値（令和3年度末）：40.0% ・現状値（令和2年4月）：33.5% （管理職 16.2%・係長級 38.7%）	6.3%	30.3%	20.0%	2.1%	30.7%	6.9%	3.8%

※1 諮問に依りて、特別の事項を調査、審議する合議制の機関をいいます。

※2 「第5次千代田区男女平等推進行動計画」（平成 29～令和3年度）に掲げる目標値です。

男女共同参画社会の実現に向けた取組について、お聞きします

問28 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1	法律や制度の見直しを行う	29.9%
2	国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性を積極的に登用する	33.8%
3	民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する	30.1%
4	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	15.4%
5	従来、女性が少なかった分野（研究者など）への女性の進出を支援する	33.0%
6	保育施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する	47.4%
7	男女の平等と女性活躍推進について学習機会を充実する	15.2%
8	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める	48.0%
9	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	59.3%
10	子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人への再就職を支援する	56.6%
11	男女の平等と女性活躍推進について広報・PRする	9.2%
12	その他	2.9%
13	特にない	2.3%
14	わからない	3.3%
	無回答	4.2%

問29 あなたは、千代田区男女共同参画センターM I W（ミュウ）を知っていますか。また、利用したことはありますか。(〇は1つ)

1	利用したことがある	3.8%	2	知っているが、利用したことがない	26.5%
3	知らない	66.4%		無回答	3.3%

問30 あなたは、千代田区男女共同参画センターM I Wで実施している次の事業を知っていますか。(〇はいくつでも)

1	M I W相談員による一般相談	11.9%
2	女性弁護士による法律相談	5.4%
3	LGBT s相談	4.2%
4	男女共同参画に関する各種講座・講演会・展示会	9.6%
5	情報ライブラリ（図書や資料の貸出）	5.0%
6	ホームページ・メールマガジン・フェイスブックの運営	2.5%
7	情報誌「M I W通信」の発行	3.5%
8	ライブラリニュース「みゅう」の発行	2.5%
9	ビデオサロン&カフェ（DVD上映と交流）	1.9%
10	M I W祭り	2.5%
11	情報交流会（M I W千夜一夜）	0.8%
12	M I W運営協議会	1.0%
13	男女共同参画推進研修生派遣事業	0.2%
14	男女共同参画社会推進事業	2.3%
15	その他	0.2%
16	どれも知らない	73.1%
	無回答	6.1%

問31 あなたは、次の言葉や取組を知っていますか。（それぞれの項目について○は1つずつ）

	知っている	意味(内容)を は知らない	聞いたことが ない	無回答
① 男女共同参画社会基本法	30.9%	33.2%	30.1%	5.8%
② 男女雇用機会均等法	73.7%	16.9%	5.2%	4.2%
③ 配偶者暴力防止法（DV防止法）	55.1%	27.1%	12.9%	4.8%
④ 女性活躍推進法	26.5%	34.0%	33.8%	5.6%
⑤ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	11.1%	31.1%	51.8%	6.1%
⑥ 東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例	9.0%	21.9%	64.3%	4.8%
⑦ 千代田区男女平等推進行動計画	6.5%	23.0%	65.1%	5.4%
⑧ ジェンダー 社会的・文化的につくられる性別の違い	60.8%	19.8%	14.8%	4.6%
⑨ ジェンダー・ギャップ指数 世界経済フォーラムが毎年公表している男女格差を示す指標。経済活動や政治への参画度、教育水準などから算出される	20.0%	24.2%	50.1%	5.6%
⑩ エスティーゼス SDGs（持続可能な開発目標） 国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、「Sustainable Development Goals」の略	36.3%	15.4%	42.8%	5.4%
⑪ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） 一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること	63.7%	11.9%	19.2%	5.2%
⑫ デートDV 交際相手からの精神的・身体的・性的暴力	53.2%	16.9%	24.8%	5.0%
⑬ リプロダクティブ・ヘルツ&ライツ（生と生殖に関する健康と権利） 自分の体に関することを自分自身で決めことができ、そのための健康を享受できること	13.6%	11.3%	69.5%	5.6%
⑭ SOGI（ソジ・ソギ） すべての人が持つ性的指向（好きになる性/Sexual Orientation=SO）と性自認（心の性/Gender Identity=GI）の略	4.8%	7.5%	82.5%	5.2%
⑮ ダイバーシティ&インクルージョン 一人一人の多様性を受け入れ、認め合い、活かすこと	39.7%	15.4%	39.7%	5.2%

問32 あなたが男女平等・男女共同参画の推進について、日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

## 2. 青少年向け調査票

### あなた自身やご家族について、お聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1 男性	44.2%	2 女性	54.4%	3 どちらともいえない	1.1%
無回答	0.3%				

問2 あなたの学年を教えてください。(〇は1つ)

1 中学2年生	25.6%	2 中学3年生	23.6%	3 高校1年生	16.0%
4 高校2年生	16.2%	5 高校3年生	16.8%	6 社会人・その他	1.1%
無回答	0.6%				

問3 あなたの父親・母親は、現在、どのように働いていますか。  
(それぞれの項目について〇は1つずつ)

項目	せんたくし 選択肢			
父親	1 外で働いている	78.1%	2 家で働いている	8.0%
	3 主夫(主に家事や育児をしている)	1.1%	4 その他	6.3%
	5 わからない	4.3%	無回答	2.3%
母親	1 外で働いている	57.8%	2 家で働いている	10.5%
	3 主婦(主に家事や育児をしている)	26.2%	4 その他	2.8%
	5 わからない	2.0%	無回答	0.6%

### あなたの日々の生活や学校生活について、お聞きします

問4 あなたは、今の社会では男女は平等になっていると思いますか。  
(それぞれの項目について〇は1つずつ)

分野	男性の方がとても優遇 されている(強い立場にある)	どちらかと言えば男性の方が優遇 されている(強い立場にある)	平等だと思っている	どちらかと言えば女性の方が優遇 されている(強い立場にある)	女性の方がとても優遇 されている(強い立場にある)	わからない	無回答
⑨ 家庭生活	6.3%	24.2%	51.0%	9.4%	1.1%	7.1%	0.9%
⑩ 学校教育の場	1.7%	8.0%	65.0%	9.1%	3.7%	11.7%	0.9%
⑪ 社会全体として	11.4%	48.4%	20.5%	6.3%	1.4%	11.1%	0.9%

問5 あなたの家で、次の項目①～⑧の事柄を主にしているのは誰ですか。  
 (それぞれの項目について○は1つずつ)

項目	主に男性 (父、兄、弟、 祖父等)	主に女性 (母、姉、妹、 祖母等)	男性と女性が 同程度に分担	その他 (家族以外の人 や家事代行サー ビスなど)	わからない	無回答
① 食料品などの買い物	6.0%	69.8%	22.5%	0.3%	1.1%	0.3%
② 食事の支度	5.1%	80.6%	13.1%	0.0%	0.9%	0.3%
③ 食事の後片付け	9.7%	61.3%	27.6%	0.3%	0.9%	0.3%
④ 掃除	5.4%	71.8%	19.1%	2.3%	1.1%	0.3%
⑤ ゴミ出し	22.8%	45.3%	29.6%	0.6%	1.4%	0.3%
⑥ 洗濯	7.1%	72.6%	18.8%	0.0%	1.1%	0.3%
⑦ 祖父母の介護	2.6%	18.2%	12.5%	6.6%	55.8%	4.3%
⑧ 生活費をかせぐこと	50.7%	13.4%	32.5%	0.0%	3.1%	0.3%

問6 あなたは、問5の項目①～⑧の事柄は、誰がするのが一番よいと思いますか。  
 (それぞれの項目について○は1つずつ)

項目	主に男性 (父、兄、弟、 祖父等)	主に女性 (母、姉、妹、 祖母等)	男性と女性が 同程度に分担	その他 (家族以外の人 や家事代行サー ビスなど)	わからない	無回答
① 食料品などの買い物	3.7%	32.5%	55.8%	1.4%	6.0%	0.6%
② 食事の支度	0.6%	38.2%	55.0%	0.3%	5.4%	0.6%
③ 食事の後片付け	8.0%	15.7%	69.8%	0.6%	5.1%	0.9%
④ 掃除	5.1%	17.1%	70.7%	1.4%	4.8%	0.9%
⑤ ゴミ出し	17.1%	6.3%	69.8%	0.9%	5.1%	0.9%
⑥ 洗濯	3.7%	29.1%	61.0%	0.3%	5.1%	0.9%
⑦ 祖父母の介護	2.3%	6.6%	62.1%	6.3%	20.8%	2.0%
⑧ 生活費をかせぐこと	30.2%	3.1%	58.7%	0.3%	7.1%	0.6%

問7 あなたは、学校生活の中で、男子と女子では役割に違いがあると感じることがありますか。  
 (○は1つ)

1 感じることもある	17.9%	2 時々、感じることもある	33.9%
3 感じることはない	46.2%	無回答	2.0%

- 問8 ㊦あなたの学校やクラスでは、次の項目は男子と女子どちらがその役割を担<sup>にな</sup>うことが多いですか。（それぞれの項目について数字に○を1つずつ）
- ①あなたは、男子と女子のどちらがその役割を担うべきだと思いますか。（それぞれの項目についてアルファベットに○を1つずつ）

	㊦誰がしているか			①誰がするのがよいと思うか				
	女子の方が多い	男子の方が多い	無回答	男子	女子	性別にはこだわらない方がよい	わからない	無回答
記入例	①	2		Ⓐ	B	C	D	
① 生徒会長・学級委員（クラス委員）	41.0%	40.7%	18.2%	3.4%	3.7%	81.8%	6.6%	4.6%
② 理科の実験を中心に行う	41.6%	38.7%	19.7%	5.1%	2.8%	80.9%	6.6%	4.6%
③ 家庭科の調理実習を中心に行う	14.5%	64.7%	20.8%	2.3%	10.8%	75.5%	6.6%	4.8%
④ 教室や校庭などを掃除する	23.6%	55.6%	20.8%	4.6%	3.1%	81.2%	6.3%	4.8%
⑤ 学校行事の準備や後片付けを行う	32.2%	46.4%	21.4%	6.8%	2.3%	79.8%	6.3%	4.8%

あなたの将来について、お聞きします

- 問9 あなたは、将来なりたいと思う職業はありますか。（○は1つ）

1 ある	41.9%	2 現在（今）は、まだない	41.3%
3 わからない	13.1%	4 働きたくない	1.1%
無回答	2.6%		

- 付問9-1 問9で「1」を選択した方だけ回答ください。

あなたが将来なりたい職業は何ですか。（職業名を1つだけ記入してください。）

- 問10 あなたは、結婚<sup>けっこん</sup>についてどのように思いますか。（○は1つ）

1 結婚する方がよい	24.8%	2 できれば結婚する方がよい	22.2%
3 どちらでもよい	27.9%	4 必ずしもしなくてもよい	19.7%
5 しない方がよい	1.4%	6 わからない	3.1%
無回答	0.9%		

- 問11 あなたは、結婚したら夫婦で共働きをしたいと思いますか。（○は1つ）

1 共働きをしたい	39.6%	2 共働きはしたくない	9.4%
3 どちらでもよい	40.2%	4 わからない	9.7%
無回答	1.1%		

ディーファイ  
デートDVについて、お聞きします

デートDVとは

恋人（彼氏・彼女）からのいやがらせや暴力のことです。

問12 あなたは「デートDV」という言葉を知っていましたか。（〇は1つ）

1 意味を知っている	37.9%	2 聞いたことはあるが、意味は知らない	12.5%
3 聞いたことがない	47.3%	無回答	2.3%

問13 ⑦あなたは、恋人の間で起こる次の項目①～⑧のような行為をされたことや見聞きしたことはありますか。（それぞれの項目について〇は2つまで）

①恋人の間で起こるこれらの行為を「デートDV」だと思いませんか。  
（それぞれの項目について〇は1つずつ）

項目	⑦されたこと、見聞きしたことがあるか（〇は2つまで）				①どう思うか（〇は1つまで）			
	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答	DVにあたるような場合でも「デートDV」にはあたらない	相手に非があれば「デートDV」にはあたらない	「デートDV」ではない	無回答
記入例	①	2	3		Ⓐ	B	C	
① たたく、ける、髪を引っ張る、物を投げつける	0.0%	6.3%	90.9%	3.1%	84.9%	8.3%	2.3%	4.6%
② 大声でどなる、おどす	0.9%	10.5%	85.5%	3.1%	74.4%	17.9%	2.8%	4.8%
③ 馬鹿にしたり、傷つく言葉を使う	1.4%	14.8%	80.6%	3.1%	74.4%	16.8%	3.7%	5.1%
④ 無視し続ける	0.9%	8.5%	87.2%	3.4%	56.4%	31.3%	7.4%	4.8%
⑤ 友人との連絡・付き合いを制限する	1.1%	18.5%	77.2%	3.1%	63.5%	20.8%	10.3%	5.4%
⑥ スマホのメール※や発信・着信履歴を勝手に見る	0.3%	12.5%	84.0%	3.1%	67.5%	21.4%	6.3%	4.8%
⑦ デートに必要なお金を無理に払わせる	0.0%	4.6%	92.3%	3.1%	82.6%	8.5%	4.3%	4.6%
⑧ いやがっているのにキスしたり、体に触る	0.0%	6.3%	90.3%	3.4%	89.2%	3.7%	2.6%	4.6%

※LINEやSNSアプリ（ツイッター・インスタグラム・TikTok（ティックトック）など）でのDM（ダイレクトメッセージ）も含まれます。

◆デートDVでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

千代田区男女共同参画センターMIW相談室

☎03-5211-4316（予約専用電話）

詳細やその他の相談窓口は、ホームページをご覧ください。

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/miw-sodan.html>



エルジーピーティーズ

## LGBTsについて、お聞きします

### LGBTsとは

「L=レズビアン（心の性が女性で恋愛対象も女性の人）」「G=ゲイ（心の性が男性で恋愛対象も男性の人）」「B=バイセクシャル（恋愛対象が女性にも男性にも向いている人）」「T=トランスジェンダー（心と身体の性が一致しない人）」それ以外の多様な性の存在を「s」で表しています。「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」や「LGBTQ」（Q=クエスチョニング）と表現することも

問14 あなたは、今までに、好きになる性（性的指向）や心の性（性自認）について悩んだことはありますか。また、周りの方で悩んでいる人はいますか。（〇は1つ）

1 悩んだことがある（今、悩んでいる）	6.3%
2 悩んだことはないが、周りで悩んでいる人がいた（いる）	8.5%
3 悩んだことはなく、周りにも悩んでいる人はいなかった	84.6%
無回答	0.6%

付問14-1 問14で「1」「2」を選択した方だけ回答ください。

あなたは、その悩みを相談しましたか。（〇はいくつでも）

1 親に相談した	3.8%	2 兄弟姉妹に相談した	1.9%
3 その他の家族に相談した	1.9%	4 友だちに相談した	25.0%
5 学校の先生に相談した	0.0%	6 学校の保健室の先生に相談した	0.0%
7 その他の人（所）に相談した	3.8%	8 相談したかったが、できなかった	1.9%
9 相談しようとは思わなかった	53.8%	無回答	11.5%

◆好きになる性（性的指向）や心の性（性自認）などでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

・千代田区男女共同参画センターMIW相談室（LGBTs相談）

☎03-5211-4316（予約専用電話）

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/miw-sodan.html>

・Tokyo LGBT相談（東京都性自認及び性的指向に関する専門電話相談）

☎03-3812-3727 / LINEアカウント「LGBT相談@東京」





問15 あなたは、「LGBTs」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

1 意味を知っている	76.1%	2 聞いたことはあるが、意味は知らない	10.0%
3 聞いたことがない	13.1%	無回答	0.9%

問16 あなたは、LGBTsの方々の人権を守るために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1 正しい理解を深めるための教育を学校で行う	65.2%
2 正しい理解を深めるための啓発活動を千代田区が行う	14.8%
3 相談・支援体制を充実させる	54.4%
4 LGBTsであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する	57.0%
5 その他	3.4%
6 特に必要なことはない	4.0%
7 わからない	7.7%
無回答	1.1%

だんじょきょうどうさんかく

**男女共同参画社会の実現に向けた取組についてお聞きします**

**「男女共同参画」とは**

性別にかかわらず、一人ひとりの個性が尊重された多様な生き方ができ、家庭、地域、仕事などのあらゆる分野に平等に積極的に関わることができることです。

問17 あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

1 意味を知っている	52.1%	2 聞いたことはあるが、意味は知らない	17.7%
3 聞いたことがない	29.3%	無回答	0.9%

問18 「男性は仕事をして、女性は家庭を守る」という性別で役割を分担する考え方がありますが、あなたはこの考え方に共感しますか。(〇は1つ)

1 共感する	13.1%	2 共感しない	62.1%
3 わからない	23.9%	無回答	0.9%

問19 あなたは、女性が仕事をする事について、どのように考えますか。(〇は1つ)

1 仕事をし続けた方がよい	34.8%
2 結婚するまでは仕事をした方がよい	4.3%
3 子どもが生まれるまでは仕事をした方がよい	3.1%
4 子どもができたなら仕事を辞め、子育てが終われば仕事に復帰する方がよい	20.8%
5 女性は仕事をしないで、家庭を守った方がよい	2.0%
6 その他	20.8%
7 わからない	12.0%
無回答	2.3%

## ジェンダーとは

生物学的な性別の違いではなく、社会的・文化的につくられる性別の違いです。人々の意識の中につくられた「男性像」「女性像」といった性別による役割分担を意味する言葉として使われます。

問 20 あなたは、テレビやインターネットなどのメディアが発信するジェンダー表現について、日頃どのように感じますか。(〇はいくつでも)

1 男女のステレオタイプな表現（「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」など）を発信している	23.6%
2 色で性別を分けるなど、興味関心や服装・外見等の個性を無視したり軽くみたりしている	24.2%
3 特に女性について、見た目や若さを強調している	33.3%
4 伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的な部分を強調する表現が目立つ	18.8%
5 LGBTsを差別している	11.1%
6 その他	2.0%
7 おかしいと思うことはない	15.7%
8 わからない	27.1%
無回答	2.6%

問 21 あなたが男女平等や男女共同参画<sup>たんじょきょうどうさんかく</sup>について、日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。<sup>ひごろ</sup>

ご協力、ありがとうございました。

### 3. 事業所向け調査票

※特に注意書きがない限り、下線が引いてある数値は中小企業基本法上の「中小企業」、引いていない数値は「中小企業以外」の割合となっている。

中小企業とは、以下の業種・規模に該当する企業をいう。

- 製造業・その他の業種：従業員数 300 人以下または資本金 3 億円以下の企業
- 卸売業：従業員数 100 人以下または資本金 1 億円以下の企業
- 小売業：従業員数 50 人以下または資本金 5,000 万円以下の企業
- サービス業：従業員数 100 人以下または資本金 5,000 万円以下の企業

#### 貴事業所について、お聞きします

問1 貴事業所の産業分類は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

※本社、支店、営業所等も合計した企業全体についてお答えください。

1 農業、林業	<u>0.9%</u>	0.0%	2 鉱業、採石業、砂利採取業	<u>0.0%</u>	0.0%
3 建設業	<u>7.7%</u>	2.2%	4 製造業	<u>6.8%</u>	6.5%
5 電気・ガス・熱供給・水道業	<u>0.9%</u>	0.0%	6 情報通信業	<u>18.8%</u>	6.5%
7 運輸業、郵便業	<u>4.3%</u>	0.0%	8 卸売業	<u>12.0%</u>	6.5%
9 小売業	<u>3.4%</u>	6.5%	10 金融業、保険業	<u>6.0%</u>	7.6%
11 不動産業、物品賃借業	<u>4.3%</u>	2.2%	12 学術研究、専門・技術サービス業	<u>8.5%</u>	5.4%
13 宿泊業	<u>0.0%</u>	1.1%	14 飲食サービス業	<u>0.9%</u>	1.1%
15 生活関連サービス業、娯楽業	<u>0.9%</u>	1.1%	16 教育、学習支援業	<u>0.9%</u>	4.3%
17 医療、福祉	<u>5.1%</u>	4.3%	18 サービス業(他に分類されないもの)	<u>18.8%</u>	15.2%
19 その他	<u>0.0%</u>	26.1%	無回答	<u>0.0%</u>	3.3%

問2 貴事業所の従業員規模は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

※本社、支店、営業所等も合計した企業全体についてお答えください。

1 50人以下	<u>52.1%</u>	9.8%	2 51人以上、100人以下	<u>12.0%</u>	2.2%
3 101人以上、300人以下	<u>24.8%</u>	22.8%	4 301人以上、500人以下	<u>3.4%</u>	18.5%
5 501人以上、1,000人以下	<u>2.6%</u>	12.0%	6 1,001人以上	<u>5.1%</u>	32.6%
無回答	<u>0.0%</u>	2.2%			

問3 貴事業所の資本金は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

1 500万円以下	<u>6.0%</u>	4.3%	2 500万円超、1,000万円以下	<u>12.0%</u>	3.3%
3 1,000万円超、2,000万円以下	<u>14.5%</u>	1.1%	4 2,000万円超、5,000万円以下	<u>29.9%</u>	2.2%
5 5,000万円超、1億円以下	<u>23.9%</u>	22.8%	6 1億円超、3億円以下	<u>4.3%</u>	8.7%
7 3億円超	<u>8.5%</u>	43.5%	無回答	<u>0.9%</u>	14.1%

問4 貴事業所の従業員数を雇用形態別にご記入ください。

※企業全体ではなく、貴事業所のみ的人数をお答えください。

	男性	女性
正規従業員	平均 27.5 人 (71.9%) 平均 108.4 人 (58.6%)	平均 10.7 人 (28.1%) 平均 76.4 人 (41.4%)
非正規従業員 (※)	平均 5.9 人 (37.9%) 平均 20.4 人 (39.3%)	平均 9.7 人 (62.1%) 平均 31.6 人 (60.7%)

※パート、契約社員等の数を記入してください。派遣社員については、貴事業所が派遣元で、給与の支払いを受けている人数を記入してください。貴事業所が派遣先の場合は記入しないでください。

### 女性の活躍推進について、お聞きします

#### 女性活躍推進法の改正について

令和元年6月5日、女性活躍推進法等の一部を改正する法律が公布されました。

【概要抜粋】 詳細やその他の改正内容は、厚生労働省ホームページ等をご覧ください。

- ① 常時雇用する労働者が300人以上の事業主について、一般事業主行動計画 (※) の策定や情報公表の内容が順次変更 (令和2年4月1日以降順次施行)
- ② 一般事業主行動計画の策定・届出及び情報公表の義務が、常時雇用する労働者が101人以上の事業主に拡大 (現行は301人以上の事業主が義務) (令和4年4月1日施行)

#### ※一般事業主行動計画とは

女性の職業生活における活躍の推進に向けて、一般事業主は、自社の女性の活躍に関する状況を把握し、その状況から課題を分析し、その結果を勘案し、①計画期間、②数値目標、③取組内容、④取組の実施時期を盛り込み策定するものです。

問5 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定については知っていましたか。また、策定はされていますか。(〇は1つ)

1 策定済みである	14.5%	58.7%
2 現在策定している、または策定予定	13.7%	16.3%
3 策定していない、その予定もない	41.9%	13.0%
4 次世代育成支援対策推進法に規定される事業主行動計画 (※) と一体型で策定	0.9%	2.2%
5 法律や行動計画を知らなかった	25.6%	6.5%
無回答	3.4%	3.3%

※事業主が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などに取り組むにあたって、①計画期間、②目標、③目標を達成するための対策と実施時期を具体的に盛り込み策定するものです。常時雇用する従業員が101人以上の事業主には、行動計画の策定・届出・公表・周知が義務づけられています。

付問5-1 問5で「3」を選択した事業所のみ回答ください。

行動計画を策定しない理由は何ですか。(〇は1つ)

1 大切だとは思うが、行動計画を策定する余裕がない	12.2%	8.3%
2 雇用環境が整っているので、行動計画を策定する必要がない	16.3%	16.7%
3 そのような制度が必要ないと思うから	8.2%	0.0%
4 策定すべき内容や策定方法等の詳細がわからないから	6.1%	8.3%
5 従業員数が基準以下であり、行動計画を策定する義務がないから	51.0%	41.7%
6 その他	6.1%	25.0%
無回答	0.0%	0.0%

問6 貴事業所には、係長相当職以上の管理職及び女性管理職は何人いますか。

(該当のない場合は「0」と記入ください)

管理職	登用状況	管理職数	
			うち女性
役員		平均 1.8 人	平均 0.2 人 (9.4%)
		平均 3.1 人	平均 0.3 人 (8.2%)
部長相当職		平均 2.9 人	平均 0.3 人 (9.9%)
		平均 11.4 人	平均 1.1 人 (10.0%)
課長相当職		平均 4.0 人	平均 0.7 人 (17.0%)
		平均 20.3 人	平均 3.3 人 (16.2%)
係長相当職		平均 4.1 人	平均 1.1 人 (26.4%)
		平均 19.5 人	平均 6.3 人 (32.1%)

※管理職には、企業の組織系列の各部署において、配下の係員等を指揮・監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれる役職を含みます。

※部長・課長等の役職名を採用していない場合や次長等の役職欄にない職については、貴事業所の実態に応じて、該当する役職を判断してください。

付問6-1 女性管理職が少ない(全管理職のうち1割未満)またはまったくいない区分が1つでもある事業所のみ回答してください。

貴事業所の女性管理職が少ないのは、なぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

1 必要な経験・判断力を有する女性がいらないから	32.1%	36.9%
2 女性従業員が管理職になることを希望しないから	12.8%	19.0%
3 将来管理職につく可能性のある女性はあるが、役職につく在籍年数を満たしていないから	17.4%	32.1%
4 勤続年数が短く、管理職になる前に退職してしまうから	11.9%	3.6%
5 男性従業員が女性管理職を希望しないから	0.9%	1.2%
6 顧客が女性管理職をよく思わないから	0.0%	0.0%
7 女性従業員が少ない、またはいないから	32.1%	31.0%
8 その他	9.2%	10.7%
無回答	21.1%	19.0%

問7 貴事業所は女性が活躍するための取組が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

1 進んでいる	<u>12.8%</u>	13.0%	2 ある程度進んでいる	<u>42.7%</u>	54.3%
3 あまり進んでいない	<u>31.6%</u>	28.3%	4 進んでいない	<u>12.8%</u>	1.1%
無回答	<u>0.0%</u>	3.3%			

付問7-1 問7で「1」または「2」を選択した事業所のみ回答してください。

貴事業所では、取組を実施し、どのような効果がありましたか。(〇はいくつでも)

1 女性従業員の労働意欲が向上した	<u>36.9%</u>	40.3%
2 男性が女性を対等な存在として見るようになった	<u>21.5%</u>	21.0%
3 取引先や顧客からの評判が良くなった	<u>7.7%</u>	3.2%
4 優秀な人材を採用できるようになった	<u>38.5%</u>	41.9%
5 売上や利益率が向上した	<u>4.6%</u>	1.6%
6 生産性向上や競争力強化につながった	<u>20.0%</u>	4.8%
7 従業員の就業継続率が向上した	<u>15.4%</u>	27.4%
8 特に目立った効果はなかった	<u>9.2%</u>	3.2%
9 社員又は取引先からの理解が得にくく、かえってマイナスであった	<u>1.5%</u>	1.6%
10 その他	<u>4.6%</u>	8.1%
無回答	<u>3.1%</u>	3.2%

付問7-2 問7で「3」または「4」を選択した事業所のみ回答してください。

貴事業所の女性の活躍が進んでいないのは、なぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

1 早く退職してしまうから	<u>23.1%</u>	22.2%
2 家事・育児等の家庭生活のため、転勤や超過勤務に制約があるから	<u>15.4%</u>	63.0%
3 本人が昇進を望まない、または仕事に対して消極的であるから	<u>23.1%</u>	40.7%
4 女性が十分に活躍しているわけではないが、現状のままでも問題ないから	<u>48.1%</u>	11.1%
5 男性社員の意識・理解が不十分であるから	<u>9.6%</u>	18.5%
6 トップの意識・理解が不十分であるから	<u>7.7%</u>	14.8%
7 その他	<u>17.3%</u>	18.5%
無回答	<u>3.8%</u>	3.7%

育児・介護休業について、お聞きします

育児・介護休業法の改正について

平成29年1月1日及び同年10月1日に、改正育児・介護休業法が施行されました。また、令和元年12月27日に改正育児・介護休業法施行規則及び改正指針が公布されました。

【概要抜粋】 詳細やその他の改正内容は、厚生労働省ホームページ等をご覧ください。

<介護休業等>

① 介護休業の分割取得（平成29年1月1日改正）

対象となる家族1人につき通算93日まで、3回を上限として、介護休業を分割取得が可能に。

② 介護休暇の取得単位の柔軟化（令和3年1月1日施行）

すべての労働者が時間単位での取得が可能に（現行は半日単位。1日の所定労働時間が4時間以下の労働者は除外）。

<育児休業等>

③ 有期契約労働者の育児休業取得要件の緩和（平成29年1月1日改正）

子が1歳6か月になるまでの間に雇用契約が満了することが明らかでない限り取得可能に（改正前は1歳以降も雇用継続の見込みがあり、2歳までの間に更新されないことが明らかでない限り取得可能）。

④ 子の看護休暇の取得単位の柔軟化（令和3年1月1日施行）

すべての労働者が時間単位での取得が可能に（現行は半日単位。1日の所定労働時間が4時間以下の労働者は除外）。

⑤ 育児休業取得期間の延長（平成29年10月1日改正）

育児休業（原則1歳まで）を6か月延長しても保育所に入れない等の場合に、更に6か月（2歳まで）の再延長が可能に。延長した場合は育児休業給付の支給期間も延長。

⑥ 育児目的休暇制度の努力義務創設（平成29年10月1日改正）

事業主に対し、育児目的休暇制度（小学校就学に達するまでの子を養育する労働者が、育児に関する目的で利用できる休暇制度）を設けることに努めるよう義務付け。

問8 上記の改正があったことを知っていましたか。また、貴事業所は、⑥の育児目的休暇制度を設けていますか。

(1) 育児・介護休業法の改正の認知度（それぞれの項目について〇は1つずつ）

	知っていた	知らなかった	無回答
① 介護休業の分割取得	<u>74.4%</u> 92.4%	<u>25.6%</u> 6.5%	<u>0.0%</u> 1.1%
② 介護休暇の取得単位の柔軟化	<u>70.1%</u> 87.0%	<u>29.9%</u> 10.9%	<u>0.0%</u> 2.2%
③ 有期契約労働者の育児休業取得要件の緩和	<u>71.8%</u> 94.6%	<u>28.2%</u> 4.3%	<u>0.0%</u> 1.1%
④ 子の看護休暇の取得単位の柔軟化	<u>67.5%</u> 83.7%	<u>32.5%</u> 14.1%	<u>0.0%</u> 2.2%
⑤ 育児休業取得期間の延長（最長2歳まで）	<u>79.5%</u> 95.7%	<u>20.5%</u> 3.3%	<u>0.0%</u> 1.1%
⑥ 育児目的休暇制度の努力義務創設	<u>62.4%</u> 80.4%	<u>37.6%</u> 17.4%	<u>0.0%</u> 2.2%

(2) 育児目的休暇制度の有無 (〇は1つ)

1 制度あり	<u>63.2%</u>	60.9%	2 制度なし	<u>35.9%</u>	35.9%
無回答	<u>0.9%</u>	3.3%			

問9 貴事業所では、就業規則等の規定上、最長で子が何歳になるまで育児休業を取得することができますか。(〇は1つ)

1 1歳未満			<u>4.3%</u>	0.0%
2 1歳			<u>3.4%</u>	6.5%
3 原則は1歳だが、一定の場合は1歳6か月			<u>18.8%</u>	17.4%
4 無条件に1歳6か月			<u>4.3%</u>	1.1%
5 原則は1歳だが、一定の場合は2歳			<u>42.7%</u>	35.9%
6 無条件に2歳			<u>4.3%</u>	9.8%
7 2歳～3歳未満			<u>6.8%</u>	17.4%
8 3歳以上			<u>1.7%</u>	10.9%
9 育児休業の規定なし			<u>11.1%</u>	0.0%
無回答			<u>2.6%</u>	1.1%

問10 男性従業員が育児に参加することについてどう考えていますか。貴事業所の考え方に最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1 積極的に参加したほうがよい			<u>33.3%</u>	52.2%
2 仕事に支障のない範囲で参加したほうがよい			<u>53.0%</u>	40.2%
3 必要に迫られたときのみ参加すればよい			<u>10.3%</u>	4.3%
4 参加する必要はない			<u>0.9%</u>	0.0%
無回答			<u>2.6%</u>	3.3%

問11 貴事業所では、男性の育児休業の取得促進のために取組を行っていますか。(〇は1つ)

1 行っている	<u>16.2%</u>	38.0%	2 行っていない	<u>82.9%</u>	58.7%
無回答	<u>0.9%</u>	3.3%			

付問 11-1 問11で「1」を選択した事業所のみ回答してください。

貴事業所では、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1 上司が積極的に育児休業をとる	<u>10.5%</u>	8.6%	2 個別に働きかけをする	<u>57.9%</u>	51.4%
3 取得促進の部署を作る	<u>5.3%</u>	8.6%	4 法を上回る制度設計をする	<u>15.8%</u>	20.0%
5 社内制度の周知を行う	<u>36.8%</u>	80.0%	6 目標件数を定める	<u>5.3%</u>	11.4%
7 取得事例の紹介をする	<u>31.6%</u>	31.4%	8 その他	<u>0.0%</u>	2.9%
無回答	<u>0.0%</u>	2.9%			



問12 男性従業員が育児休業を取得するにあたっての課題、または課題になりそうなことは何ですか。  
(〇はいくつでも)

1	職場がそのような雰囲気ではない	<u>25.6%</u>	14.1%
2	代替要員の確保が困難	<u>59.8%</u>	67.4%
3	キャリア形成において不利になる懸念	<u>10.3%</u>	10.9%
4	上司の理解が進まない	<u>10.3%</u>	12.0%
5	前例(モデル)がない	<u>24.8%</u>	21.7%
6	男性自身に育児休業を取る意識がない	<u>33.3%</u>	48.9%
7	休業中の賃金補償	<u>20.5%</u>	31.5%
8	社会全体の認識の欠如	<u>10.3%</u>	18.5%
9	その他	<u>7.7%</u>	3.3%
	無回答	<u>2.6%</u>	3.3%

問13 貴事業所では、就業規則等の規定上、介護休業を最長でどのくらいの期間、取得できますか。  
(〇は1つ)

1	93日未満	<u>5.1%</u>	2.2%	2	93日	<u>57.3%</u>	48.9%
3	93日を超え6か月未満	<u>6.8%</u>	6.5%	4	6か月以上1年未満	<u>2.6%</u>	6.5%
5	1年	<u>8.5%</u>	22.8%	6	1年を超える期間	<u>2.6%</u>	7.6%
7	介護休業の規定なし	<u>14.5%</u>	3.3%		無回答	<u>2.6%</u>	2.2%

付問13-1 問13で「1」～「6」を選択した事業所のみ回答してください。

貴事業所では、就業規則等の規定上、介護休業を何回まで分割して取得できますか。(〇は1つ)

1	3回未満	<u>17.5%</u>	5.7%	2	3回	<u>50.5%</u>	70.1%
3	4回以上(回数制限あり)	<u>1.0%</u>	3.4%	4	回数制限なし	<u>26.8%</u>	20.7%
	無回答	<u>4.1%</u>	0.0%				

問14 貴事業所では、令和元年4月1日～令和2年3月31日の間に、育児・介護休業を取得した従業員はいますか。(〇は1つ)

1	いる	<u>36.8%</u>	80.4%	2	いない	<u>63.2%</u>	18.5%
	無回答	<u>0.0%</u>	1.1%				

付問14-1 問14で「1」を選択した事業所のみ回答してください。

育児・介護休業取得者の業務に関して、貴事業所ではどのように対応しましたか。取得者によって対応が異なる場合は最も多い対応方法を選んでください。(〇は1つ)

1	代替要員の補充を行わず、同じ部門の他の社員で対応した	<u>37.2%</u>	44.6%
2	事業所内の他の部門又は他の事業所から、人員を異動させた	<u>9.3%</u>	9.5%
3	派遣労働者やアルバイト等を、代替要員として補充した	<u>48.8%</u>	40.5%
4	その他	<u>2.3%</u>	4.1%
	無回答	<u>2.3%</u>	1.4%

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、お聞きします

問15 貴事業所において、以下の制度はありますか。また、制度がある場合、その対象者に○をつけ、令和元年4月1日～令和2年3月31日までの利用者の有無を、右欄男女別にそれぞれ○をつけてください。

制度の有無 (下段は対象者)	制度あり		今後導入 予定あり	制度なし	無回答	(%)					
	従業員 正規	従業員 非正規 ※				男性			女性		
制度の 種類						利用者あり	利用者なし	無回答	利用者あり	利用者なし	無回答
記入例	①	②	3	4		Ⓐ	B		Ⓒ	D	
① 短時間勤務制度	64.0		0.9	30.8	4.3	21.3	57.3	21.3	81.3	14.7	4.0
	60.7	41.9	1.1	7.6	4.3						
	87.0										
	83.7	59.8									
② フレックスタイム制度	33.4		5.1	52.1	9.4	74.4	20.5	5.1	76.9	23.1	0.0
	33.3	14.5	5.4	50.0	7.6						
	37.0										
	35.9	21.7									
③ 在宅勤務制度 (テレワーク等)	64.9		10.3	21.4	3.4	85.5	5.3	9.2	88.2	2.6	9.2
	63.2	40.2	16.3	18.5	4.3						
	60.9										
	59.8	44.6									
④ 始業・終業時刻の 繰上げ・繰下げ	57.3		6.0	29.9	6.8	82.1	13.4	4.5	86.6	10.4	3.0
	55.6	41.0	4.3	19.6	3.3						
	72.8										
	71.7	57.6									
⑤ 半日や時間単位の 有給休暇	86.4		3.4	8.5	1.7	89.1	6.9	4.0	92.1	3.0	5.0
	86.3	58.1	0.0	3.3	2.2						
	94.5										
	93.5	72.8									

制度の有無 (下段は対象者)	制度あり		今後導入 予定あり	制度なし	無回答	男性			女性		
	従業員 正規	従業員※ 非正規				利用者あり	利用者なし	無回答	利用者あり	利用者なし	無回答
制度の 種類	①	②	3	4		Ⓐ	B		Ⓒ	D	
⑥ 所定時間外労働 (残業)の免除	51.3		3.4	36.8	8.5	26.7 32.4	58.3 60.6	15.0 7.0	48.3 67.6	43.3 29.6	8.3 2.8
	50.4	35.9	0.0	18.5	4.3						
	77.2										
	76.1	55.4									
⑦ 再雇用制度(育児・ 介護で退職した人 を正社員で優先的 に雇用する制度等)	23.0		4.3	60.7	12.0	48.1 26.9	44.4 69.2	7.4 3.8	25.9 42.3	51.9 53.8	22.2 3.8
	23.1	7.7	3.3	63.0	5.4						
	28.3										
	27.2	8.7									
⑧ 育児・介護に要 する経費の援助	6.8		3.4	77.8	12.0	50.0 71.4	37.5 23.8	12.5 4.8	37.5 85.7	50.0 14.3	12.5 0.0
	6.0	5.1	2.2	67.4	7.6						
	22.8										
	21.7	16.3									
⑨ 事業所内保育所 の設置	0.0		0.9	87.2	12.0	0.0 50.0	0.0 33.3	0.0 16.7	0.0 50.0	0.0 33.3	0.0 16.7
	0.0	0.0	0.0	85.9	7.6						
	6.5										
	5.4	4.3									
⑩ 配偶者同行休業 制度	0.8		0.9	85.5	12.8	0.0 20.0	100.0 60.0	0.0 20.0	0.0 30.0	100.0 50.0	0.0 20.0
	0.9	0.0	0.0	81.5	7.6						
	10.9										
	8.7	5.4									

※パート、契約社員、派遣社員（貴事業所が派遣元の場合）など

問16 ワーク・ライフ・バランスの推進に当たっての課題、または課題になりそうなことは何ですか。(〇はいくつでも)

1 経営者の理解が進まないこと	10.3%	7.6%
2 管理職の理解が進まないこと	6.0%	15.2%
3 風土の醸成	17.9%	45.7%
4 売上減少等、経営への影響	29.1%	15.2%
5 取組のための費用負担	15.4%	16.3%
6 制度利用者と非利用者の間での不公平感	32.5%	44.6%
7 勤務時間や勤務地の多様化による労務管理の煩雑化	33.3%	39.1%
8 取組のためのノウハウ不足	18.8%	17.4%
9 代替要員の確保等、人員配置に苦慮すること	50.4%	55.4%
10 その他	7.7%	2.2%
11 特に課題はない	10.3%	4.3%
無回答	2.6%	3.3%

### ハラスメントについて、お聞きします

#### 職場におけるハラスメント防止に関する法改正について

男女雇用機会均等法、育児・介護休業法により、職場におけるセクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント（以下「妊娠等に関するハラスメント」と表記）の防止措置が義務付けられています。

令和2年6月1日より、労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法が改正され、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。

【概要抜粋】 詳細やその他の改正内容は、厚生労働省ホームページ等をご覧ください。

#### ① 職場における「パワーハラスメント」を定義づけ

職場での優越的な関係を背景とした言動で、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、労働者の就業環境が害される行為

#### ② 事業主に対し、職場におけるパワーハラスメントの防止措置を義務化（※）

#### ③ 事業主にハラスメントの相談等をした労働者に対する不利益取扱いの禁止（※）

#### ④ 自社の労働者が他社の労働者にセクシュアルハラスメントを行った場合の協力対応（努力義務）

※パワハラ防止対策の強化は、中小事業主は努力義務（令和4年4月1日から義務化）

問17 上記の改正があったことを知っていましたか。（それぞれの項目について〇は1つずつ）

	知っていた	知らなかった	無回答
① 職場における「パワーハラスメント」の定義づけ	93.2% 96.7%	6.0% 2.2%	0.9% 1.1%
② 事業主に対し、職場におけるパワーハラスメントの防止措置を義務化	83.8% 92.4%	13.7% 6.5%	2.6% 1.1%
③ 事業主にハラスメントの相談等をした労働者に対する不利益取扱いの禁止	85.5% 96.7%	12.8% 2.2%	1.7% 1.1%
④ 自社の労働者が他社の労働者にセクシュアルハラスメントを行った場合の協力対応（努力義務）	73.5% 80.4%	23.9% 17.4%	2.6% 2.2%

問18 貴事業所では、セクシュアルハラスメント・妊娠等に関するハラスメント・パワーハラスメント等の何らかのハラスメントが問題になったことがありますか。(過去5年間について)(〇は1つ)

1 問題になったことがある	<u>30.8%</u>	60.9%
2 問題になったことはないが、実態としてはある	<u>12.8%</u>	10.9%
3 問題になったことも実態としてもない	<u>56.4%</u>	26.1%
無回答	<u>0.0%</u>	2.2%

問19 ハラスメントが起きたときに対応が困難と感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

1 事実確認が難しい	<u>47.9%</u>	63.0%
2 プライバシーの保護が難しい	<u>28.2%</u>	35.9%
3 どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい	<u>65.8%</u>	70.7%
4 被害者が嫌がっていることを加害者に理解させることが難しい	<u>28.2%</u>	27.2%
5 相談を受ける際の留意点等が分からない	<u>5.1%</u>	2.2%
6 被害者への事実確認(事情聴取)に際しての対応が難しい	<u>19.7%</u>	32.6%
7 被害者の精神的ダメージが大きい場合の対応が難しい	<u>28.2%</u>	22.8%
8 加害者への処分を含めた対応が難しい	<u>27.4%</u>	30.4%
9 顧客や取引相手が加害者の場合の対応が難しい	<u>22.2%</u>	12.0%
10 相談後の対処法が分からない	<u>7.7%</u>	2.2%
11 日常の業務が忙しいため、十分に対応する余裕がない	<u>6.0%</u>	6.5%
12 相談窓口の整備等に経費がかかるため難しい	<u>0.9%</u>	2.2%
13 その他	<u>3.4%</u>	1.1%
14 特にない	<u>10.3%</u>	5.4%
無回答	<u>0.9%</u>	2.2%

問20 貴事業所では、ハラスメントを防止するために、どのような取組を実施していますか。また、実施している場合は、その対象者はどの範囲になりますか。

(%)

取組内容	実施の有無 (下段は対象者)			実施している			実施して いない	実施して いないが 実施を 検討中	無回答
	正規 従業員	非正規 従業員※1	その他 の方※2	①	②	③			
記入例							4	5	
① 就業規則等にハラスメント禁止を明記	76.9						9.4	11.1	2.6
	76.9	63.2	23.1				9.8	0.0	3.3
	86.9								
	85.9	75.0	30.4						
② ポスター、リーフレット、手引き等防止のための啓発資料を配布または提示	26.4						59.0	12.0	2.6
	26.5	23.1	12.8				28.3	4.3	4.3
	63.1								
	62.0	55.4	19.6						
③ ハラスメントに関する研修・講習等の実施（外部機関の研修等に、従業員を参加させる場合も含む）	30.8						50.4	16.2	2.6
	30.8	19.7	6.8				17.4	7.6	3.3
	71.7								
	70.7	53.3	13.0						
④ 事業所内外に相談窓口・担当者、苦情処理機関等を設置	55.5						32.5	9.4	2.6
	55.6	47.9	22.2				9.8	2.2	2.2
	85.8								
	84.8	77.2	25.0						
⑤ 実態把握のためのアンケートや調査を実施	17.1						63.2	15.4	4.3
	17.1	12.8	6.0				54.3	10.9	4.3
	30.5								
	29.3	27.2	5.4						
⑥ (妊娠等に関するハラスメント防止のため)適切な業務分担の見直しや代替要員の補充、業務の効率化のための業務点検を実施	23.1						56.4	12.8	7.7
	23.1	19.7	7.7				44.6	7.6	5.4
	42.4								
	41.3	33.7	6.5						

※1 パート、契約社員、派遣職員（貴事業所が派遣元の場合）など

※2 他の事業主が雇用する労働者、就職活動中の学生等の求職者、労働者以外の者（個人事業主などのフリーランス、インターンシップ生、教育実習生）など

付問20-1 問20の「④事業所内外に相談窓口等を設置」で「1」～「3」を選択した事業所のみ回答してください。

過去5年間に於いて、ハラスメントに関する相談はありましたか。(〇は1つ)

1 相談があった	<u>49.2%</u>	72.2%	2 相談がなかった	<u>49.2%</u>	22.8%
無回答	<u>1.5%</u>	5.1%			

付問20-2 付問20-1で「1」を選択した事業所のみ回答してください。

増加傾向にあるハラスメントは何ですか。(〇はいくつでも)

1 セクシュアルハラスメント	<u>31.3%</u>	47.4%	2 妊娠等に関するハラスメント	<u>3.1%</u>	10.5%
3 パワーハラスメント	<u>90.6%</u>	87.7%	4 その他	<u>9.4%</u>	7.0%
無回答	<u>3.1%</u>	0.0%			

エルジーピーティース

**LGBTs**について、お聞きします

### LGBTsとは

「L=レズビアン(女性同性愛者)」「G=ゲイ(男性同性愛者)」「B=バイセクシュアル(両性愛者)」「T=トランスジェンダー(心と身体の性が一致しない人)」の頭文字と、それ以外の多様な性の存在を「s」で表しています。「性的少数者(セクシュアルマイノリティ)」や「<sup>エルジーピーティークュー</sup>LGBTQ」(Q=クエスチョニング)と表現することもあります。

問21 貴事業所では、LGBTsの従業員を支援するための取組を行っていますか。(〇は1つ)

1 実施している	<u>4.3%</u>	13.0%	2 実施する予定がある	<u>1.7%</u>	2.2%
3 実施していない	<u>94.0%</u>	83.7%	無回答	<u>0.0%</u>	1.1%

付問21-1 問21で「1」を選択した事業所のみご回答ください。

貴事業所では、LGBTsの従業員を支援するためにどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1 福利厚生で同性パートナーも配偶者として扱っている	<u>20.0%</u>	33.3%
2 当事者が利用しやすいトイレや更衣室などを設置(配慮)している	<u>20.0%</u>	25.0%
3 就業規則等の一項目として差別禁止を規定している	<u>40.0%</u>	50.0%
4 経営トップなどから支援を宣言・明確にしている	<u>20.0%</u>	41.7%
5 管理職への研修・講習等を実施(外部機関の研修等に参加させる場合も含む)している	<u>80.0%</u>	58.3%
6 従業員への研修・講習等を実施(外部機関の研修等に参加させる場合も含む)している	<u>80.0%</u>	66.7%
7 相談窓口を設置している	<u>40.0%</u>	50.0%
8 実態把握のためのアンケートを実施している	<u>0.0%</u>	8.3%
9 その他	<u>0.0%</u>	16.7%
無回答	<u>0.0%</u>	0.0%

問22 貴事業所が、LGBTsに関する取組を進める上で困難と感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

1	経営層の理解や協力が得られない	<u>6.0%</u>	7.6%
2	社員の理解が足りない	<u>12.8%</u>	25.0%
3	顧客や取引先の理解が得られない	<u>2.6%</u>	1.1%
4	当事者のニーズや意見を把握することが難しい	<u>24.8%</u>	44.6%
5	取組の効果の把握が難しい	<u>14.5%</u>	21.7%
6	どのような取組を実施すればよいのかわからない	<u>41.0%</u>	32.6%
7	取組を行うための知見を持った人材がいない	<u>30.8%</u>	32.6%
8	取組を行うための予算が確保できない	<u>5.1%</u>	3.3%
9	その他	<u>4.3%</u>	1.1%
10	特に困難と感じることはない	<u>17.9%</u>	9.8%
11	わからない	<u>13.7%</u>	8.7%
	無回答	<u>7.7%</u>	4.3%



区の取組について、お聞きします

※問23及び付問23-1においては、下線が引いてある数値は中小企業基本法上の「中小企業」、引いていない数値は今回の調査で回答いただいた全事業所（「中小企業」及び「中小企業以外」を合算）の割合となっている。

問23 千代田区では、中小企業等を対象として、仕事と家庭の両立を応援するための支援を行っています。

(1) 従業員300人以下の事業所のみご回答ください。

㊦次の支援事業について知っているものに○をつけてください。(それぞれの項目について番号に○を1つずつ)

㊧これらの支援事業を利用したことはありますか。(それぞれの項目についてアルファベットに○を1つずつ)

支援制度の種類	㊦認知度				㊧利用状況		
	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答	利用したことがある	利用したことはない	無回答
記入例	①	2	3		Ⓐ	B	
① 制度導入奨励金（※）	<u>9.6%</u> 11.0%	<u>17.3%</u> 18.4%	<u>65.4%</u> 61.8%	7.7% 8.8%	<u>1.9%</u> 1.5%	<u>72.1%</u> 73.5%	<u>26.0%</u> 25.0%
② 配偶者出産休暇奨励金・育児目的休暇奨励金	<u>8.7%</u> 9.6%	<u>17.3%</u> 19.1%	<u>66.3%</u> 62.5%	7.7% 8.8%	<u>2.9%</u> 2.2%	<u>71.2%</u> 72.8%	<u>26.0%</u> 25.0%
③ 子の看護休暇奨励金	<u>8.7%</u> 9.6%	<u>14.4%</u> 16.9%	<u>69.2%</u> 64.7%	7.7% 8.8%	<u>2.9%</u> 2.2%	<u>71.2%</u> 72.8%	<u>26.0%</u> 25.0%
④ 男性の育児休業・育児短時間勤務奨励金	<u>9.6%</u> 11.0%	<u>18.3%</u> 19.9%	<u>64.4%</u> 60.3%	7.7% 8.8%	<u>1.9%</u> 1.5%	<u>72.1%</u> 73.5%	<u>26.0%</u> 25.0%
⑤ 介護休業・介護休暇・介護短時間勤務奨励金	<u>7.7%</u> 8.8%	<u>18.3%</u> 20.6%	<u>65.4%</u> 61.0%	8.7% 9.6%	<u>1.0%</u> 0.7%	<u>73.1%</u> 74.3%	<u>26.0%</u> 25.0%
⑥ 引継期間代替要員給与助成金	<u>4.8%</u> 6.6%	<u>10.6%</u> 11.0%	<u>76.9%</u> 73.5%	7.7% 8.8%	<u>1.0%</u> 0.7%	<u>73.1%</u> 74.3%	<u>26.0%</u> 25.0%

※配偶者出産休暇・育児目的休暇・子の看護休暇・介護休暇の制度を、有給の特別休暇として就業規則に導入する場合の奨励金です。

(2) 従業員100人以下の事業所のみご回答ください。

㊦次世代育成支援行動計画策定奨励金（※）を知っていますか。（○は1つ）

㊧この制度を利用したことはありますか。（○は1つ）

支援制度の種類	㊦認知度				㊧利用状況		
	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答	利用したことがある	利用したことはない	無回答
⑦ 次世代育成支援行動計画策定奨励金	<u>6.7%</u> 5.8%	<u>10.7%</u> 10.5%	<u>74.7%</u> 75.6%	8.0% 8.1%	<u>1.3%</u> 1.2%	<u>78.7%</u> 80.2%	<u>20.0%</u> 18.6%

※従業員100人以下（10人以上）の企業が行動計画を策定した場合の奨励金です。

付問23-1 問23の「④利用状況」のいずれかで「B 利用したことはない」を選択した事業所のみ回答ください。

貴事業所が、千代田区で実施している中小企業支援事業を利用していない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

1 対象企業でないため	8.1%	11.6%
2 該当する社員がないため	32.6%	26.8%
3 国や都の同様の制度を利用しているため	0.0%	1.8%
4 手続きが面倒なため	8.1%	8.9%
5 支援の内容にあまりメリットを感じられないため	5.8%	6.3%
6 社内の制度が整っており、そのような制度が必要ないため	5.8%	6.3%
7 そのような制度があることを知らなかったため	62.8%	59.8%
8 その他	3.5%	3.6%
無回答	1.2%	2.7%

◆助成金・奨励金の詳細については、区のホームページをご覧ください。

<https://www.city.chiyoda.lg.jp>



問24 今後、企業の男女共同参画を進めるにあたり、千代田区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1 広報紙やパンフレット等による男女平等や相互理解についての啓発	23.1%	14.1%
2 男女共同参画をテーマとした講座やセミナーの実施	15.4%	23.9%
3 事業所が行う研修会等への講師の派遣・紹介	9.4%	19.6%
4 女性の社会進出のための職業教育や職業訓練の実施	12.0%	9.8%
5 雇用・労働条件における男女の平等を確保するための啓発	13.7%	12.0%
6 多様な働き方やワーク・ライフ・バランスを推進する企業への優遇措置	37.6%	45.7%
7 保育施設・保育サービスの充実	36.8%	34.8%
8 高齢者や障害者のための施設・介護サービスの充実	23.1%	15.2%
9 企業や女性のための相談機関の充実	14.5%	15.2%
10 育児・介護に関する休暇制度等への賃金補償	29.1%	29.3%
11 その他	3.4%	2.2%
無回答	11.1%	18.5%

問25 あなたが男女平等・男女共同参画の推進について、日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。